温暖化が進むと日本はどうなる?

JCCCA

日本への影響は?

2100年末に予測される日本への影響予測 (温室効果ガス濃度上昇の最悪ケース RCP8.5、1981-2000 年との比較)

気温	気温	3.5~6.4℃上昇
	降水量	9~16%增加
	海面	60~63cm 上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂浜	83~85%消失
	干潟	12%消失
水資源	河川流量	1.1~1.2 倍に増加
	水質	クロロフィルaの増加による水質悪化
生態系	ハイマツ	生育可能な地域の消失~現在の7%に減少
	ブナ	生育可能な地域が現在の10~53%に減少
食糧	٦×	収量に大きな変化はないが、品質低下リスクが増大
	うんしゅうみかん	作付適地がなくなる
	タンカン	作付適地が国土の1%から13~34%に増加
健康	熱中症	死者、救急搬送者数が2倍以上に増加
	ヒトスジシマカ	分布域が国土の約4割から 75~96%に拡大
		出典:環境省環境研究総合推進費 S-8 2014年報告書

JCCCA 日本の真夏日の日数は どうなるの? 北日本日本海側 (参考都市: 札幌) 2100年末における 真夏日(最高気温30℃以上)の 年間日数予測 北日本太平洋側 現在の日数:約8日 (参考都市:釧路) 出典)環境省・気象庁 日本国内における気候変動予測の 不確実性を考慮した結果について 東日本日本海側 (参考都市:新潟) 西日本日本海側 東日本太平洋側 (参考都市:東京) (現在の日数:約34日 沖縄・奄美 (参考都市:那覇) (現在の日数:約73日) 60